慶應義塾大学学術情報リポジトリ

Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	慶應義塾大学附属研究所斯道文庫昭和四十七年度彙報
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾大学附属研究所斯道文庫
Publication year	1974
Jtitle	斯道文庫論集 (Bulletin of the Shidô Bunko Institute). No.11 (1974.) ,p.429- 432
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00106199-00000011-0429

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって 保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

附属研究所慶応義塾大学 斯道文庫昭和四十七年度彙報

年九月末日を以て満了したが、重任され 本文庫事務主任(課長待遇)に転任した。 に、三田情報センター係員堀田信夫君が 庫事務係長山口薫明君は普通部事務主任 文庫長森武之助君の任期が昭和四十七 昭和四十六年十二月一日を以て、本文

書館主任蘇篤仁氏は、日本学術振興会の 定年退職した。在職年数二十六年二ケ月。 用務員小牧宗司君は四十八年三月末日 中華民国国立故宮博物院副研究員兼図

れ、三ケ月間阿部隆一教授を中心とする 来日、また本文庫の訪問研究員に任ぜら 請者本文庫教授阿部隆一)として、九月 「漢籍総目録の編纂」の研究調査に参加

一月帰国した。

昭和四十七年度の外国人流動研究員(申

文庫委員会

て開き、文庫長より文庫の近況・研究状 九月二十七日正午より、文庫長室に於

内規等を審議決定した。 事、文庫員の海外出張、文庫助手の服務 況及び計画等を報告し、文庫長以下の人

研究調査

として、調査研究と副本作製を進めた。 前年度に引き続き左の研究題目を中心

一、国書の部 (1)平安時代和歌物語の研究

二、漢籍の部 (2)中世物語の研究 (担当者 松本隆信・平沢五郎)

①旧鈔本・宋元版の研究

(2)日本漢学の研究

(担当者 阿部隆一・太田次男・

一、宋元版の研究 室町以前漢籍資料類の調査

査題目は左の如し。

阿部隆

特に本年度に於ける各文庫員の研究調

室町以前に於ける白氏文集受容に ついての研究(金沢文庫本を通じ 太田次男

室町物語の研究(本地物の研究) 松本隆信

平安朝和歌物語の研究 (金葉和歌 平沢五郎

集諸本の研究)

尾崎

康

宋元版正史の研究

六朝隋唐時代撰述史書の研究

白石

克

四二九

一、日本古刊経の研究

り、本計画は来年度を以て完了の予定とり、本計画は来年度を以て完了の予定とり、本計画は来年度を以て完了の予定とり、本の調査及びそのマイクロ・フィルム将補助金が交附された。後記の台湾出張に補助金が交附された。後記の台湾出張に補助金が交附された。後記の台湾出張にはる如く、第二目標たる宋元版の調査による如く、第二目標たる宋元版の調査による如く、第二目標たる宋元版の調査による如く、第二目標たる宋元版の調査に有力の中で、本計画は来年度を以て完了の予定とり、本計画は来年度を以て完了の予定とり、本計画は来年度を以て完了の予定とり、本計画は来年度を以て完了の予定とり、本計画は来年度を以て完了の予定とり、本計画は来年度を以て完了の予定といいては、対している。

般研究(B)の科学研究補助金を受けた。昨年に続いて文部省の昭和四十七年度一目録の編纂(経部叢書類)」について、目録の編纂(経部叢書類)」について、

並校勘記(「斯道文庫論集」第十輯)阿部隆一 期以前 十七条憲法諸本解題左の通りである。

金沢文庫の漢籍(神奈川県立金沢文

年度に於て公表せる主要なる研究成果は

文庫員が右の研究題目に関聯して、本

庫刊)

四四―三) 巻三十一を中心と して ―(「史学」太田次男 白氏文集金沢文庫本私見―

沢文庫研究」一八一一一)

庫所蔵管見抄と「越抄」について(「金内閣文管見抄と「越抄」について(「金

山重共編 角川書店刊) 松本隆信 室町時代物語大成第一(横

で田欠男・公本を言・平尺丘が・尾奇蔵本影印―(山岸徳平共編解題 汲蔵本影印―(山岸徳平共編解題 汲平沢五郎 夢の通い路物語―蓬左文庫

(斯道文庫論集第十輯) 康共編

離本十七条憲法訓読並 校異太田次男・松本隆信・平沢五郎・尾崎

なった。

調査出張

ば、 に出張したが、主な地方出 張 を あ げ れ で複写撮影のため、都内及び近傍の諸所 上記の研究題目に関する諸本の調査及

者 阿部隆一 法隆寺蔵聖徳太子関係書調査 出張六月四日―六日 陽明文庫蔵宋元版・

六月十二日·十三日 名古屋大学附属

文集古活字版調査 出張者 太田次図書館蔵聖徳太子関係文献及び白氏図書館・犬山市赤木文庫・大垣市立

聖徳太子関係文献・宋元版調査 出国立博物館・天理図書館・法隆寺六月廿五日―廿七日 蓬左文庫・奈良

阿部隆一

庫彦漢籍調査 出張者 阿部隆一十一月四日―七日 蓬左文庫・神宮文出張者 阿部隆一・井上善一書館蔵崎門学派図書調査並に複写書

九月廿七日—十月三日 新発田市立図

に宋元版調査

出張者 阿部隆一

書館彦宋元版調査 出張者 阿部隆十一月九日—十二日 足利学校遺蹟図

一月十八・十九日 群馬県世良田長一・尾崎康・大沼晴暉

十一月十九日—廿二日 理図書館蔵漢籍調査 楽寺文書調査 出張者 出張者 蓬左文庫・天 太田次男 阿部

十一月廿四日—廿六日 図書館蔵漢籍調査 出張者 足利学校遺蹟 阿部隆

十一月卅日—十二月二日 石克 書館蔵宋版大蔵経調査 大谷大学図 出張者 白

十二月十一日—十三日 陽明文庫蔵白氏文集調査 天理図書館 出張者

十二月十三日—十七日 蓬左文庫・陽 太田次男

大垣市立図書館蔵漢籍調査 明文庫・京都大学人文科学研究所・ 阿部隆一・尾崎康 出張

三月十三日—十五日 名古屋市鶴舞中 都大学附属図書館・京都国立博物 央図書館・蓬左文庫・陽明文庫・京

三月廿二日—廿六日 大谷大学図書館 出張者 太田次男

館・穂久迩文庫蔵白氏文集関係資料

蔵思溪版大蔵経の調査 出張者

尾

海外出張

をなし、四月二十五日帰国した。 央図書館を中心として、宋元刊本の調査 台北に滞在し、国立故宮博物院・国立中 和四十八年二月七日第四次調査に出発、 フィルム複写のため、阿部隆一君は、昭 国現存漢籍善本調査並にそのマイクロ・ 昭和四十四年度より開始された中華民

斯道文庫講座

認められる。本年度の講座題目は 大学大学院文学研究科の履修単位として 文庫講座」を新に開設した。同講座は本 として、大学院生を対象として、「斯道 我が国に於ける漢籍の伝流について 本年度より、専門研究者の養成を主眼 阿部隆一

図

中世における本地物の研究

松本隆信

九八六冊、うち寄贈書は一二六冊、 し、登録せる本年度の図書増加数は、一、 四十八年三月現在、その整理を完了 斯道

> 冊。外に本年度の逐次刊行物の増加は四 図書二万八千冊、計十一万八千六十三 文庫賛助員会寄附金による購入本は十三 部七二冊、累計九万六十三冊、他に寄託

購得した。 備整備費補助金により、中国史学・方志 の叢書類一、一七九冊(台湾刊行物)を 昭和四十七年度文部省私立大学研究設 種である。

する。 く)の芳名を左に録して、感謝の意を表 本年度の主な寄贈者(定期刊行物を除

院殿 天理図書館殿 山聿三殿 京都大学人文科学研究所殿 古典研究会殿 大阪府立図書館殿 同国立中央図書館殿 中華民国国立故宮博物 亀

本は、 本文庫賛助員会寄附金による主な購入

蓬萊園記 冊

橘守部自筆稿本万葉集墨縄巻一 一冊

森立之・楊守敬自筆問答清客筆記 ##

+

四三

元刊明修本隋書

四十冊

文献複写

四リールに達した。 ィルム五三三リール、ポジフィルム四九 理登録を完了せるもの、累計百呎ネガフ の全巻を撮影せる現蔵量は三月末現在整 は、公私の文庫所蔵本について行い、そ マイクロ・フィルムによる副本作製

で、その主な芳名を録して、感謝の意を 意を表され、貴重なる所蔵本の複写を許 表する。 可された所蔵者各位の厚意によるもの この撮影は本文庫の研究事業計画に賛

国国立故宮博物院殿 小浜市立図書館殿 陽明文庫殿 神宮文庫殿 新発田市立図書館 中華民

刊行事業

斯道文庫論集 第十輯(諸本対照十 判三一四頁 七条憲法訓読並校異特輯専刊)A5 十二月一日発行

昭和四十九年八月一日発行

編輯兼発行者

附属研究所慶応義塾大学 東京都港区三田二—1五—四五 斯 道 文

庫

電話 (四五三) 四五一一番 頒価四、〇〇〇円

四三二